



禁煙ジャーナル

■発行人 一般社団法人 タバコ問題情報センター [代表理事・渡辺文学]

No. 324

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-1-4 九段セントラルビル 203

TEL : 03-3222-6781 FAX:03-3222-6780

《郵便振替》00120-0-159803 【印刷】遠藤印刷 1部500円

喫煙と新型コロナウイルス感染 両者の“遠ざけ”は至上命題！ ～屋内完全禁煙をめざして～

喫煙対策については、多くの地方自治体が「保健福祉課」や「健康増進課」などで取り組みを行っています。3年前「スモークフリーキャラバン」で全ての都道府県を訪ねた際も、そうしたセクションで職員が働いているのを目にしました。しかし、それら自治体の取り組み姿勢にはかなりの格差が見られますが、浜松市はとりわけ熱心です。厚生労働省の研究班が調査した大都市別の健康寿命が、2010年、2013年に引き続き2016年も男女とも第1位に輝いたという実績も、喫煙対策が寄与したものと考えられます。

今回の執筆者・加藤一晴氏は、浜松市の市長やタクシー業界、飲食店業界に長年にわたり喫煙対策の重要性を説き、また、対策を遂行する地域の組織作りにも、熱心に取り組んでこられました。ご多忙の中ご寄稿頂き、厚く御礼申し上げます。(渡辺文学)

飲食店の受動喫煙防止宣言！を

子どもをタバコから守る会代表
加藤 一晴

■浜松市健康増進課のニュース

8月30日の中日新聞に「重症化防げ 禁煙サポート」の表題で、健康増進課スタッフの話題が掲載された。実は、浜松市保健所内では、コロナ対策は生活衛生課（感染症対策Group）が担当している。営業再開後にクラスターが発生しているので、タバコ対策担当の健康増進課としても危機感があった。当然、店舗再開としても2か所できている、何らかの策を講じる必要があるが、何れの店舗も店内の換気は不十分であり、完全禁煙でないのは当然である。《3頁に中日新聞8/30掲載》

厚生労働省HPにも、コロナ感染とタバコは一応記載してあるが、かなり検索しないとたどり着けない。本年初旬の中国のデータでは、コロナ感染重症化1.7倍、死亡リスク3倍、さらに武漢の病院では14倍悪化しやすいと報告されている。

浜松市においても「喫煙とコロナ感染」を遠ざけることが至上命題なのだ。現状を鑑み、浜松市保健所では保健師7名体制でコロナ感染リスクを減らすために、電話相談を受けることになった。



●鈴木康友市長（右）を囲む会で、松沢成文参議院議員（左）と懇談する加藤一晴氏

■静岡県受動喫煙防止条例

国策でタバコ販売しているので「喫煙とコロナ感染」関連は、多くの国民は知る由もないが、有名芸能人の急逝が大勢の喫煙者を恐怖に至らしめた。喫煙と云えば20-30年後の懸念事項なのだが、「喫煙とコロナ感染」は7日以内に身体に迫りくる殺戮なのだ。肌で感じる発病の恐れは月とスッポンなのだ。

すでに改正健康増進法が施行されているが、大概の健康な人は「分煙表示」を見てギョッと驚く。

* - 1頁からの続き -

本来、喫煙スペースと無煙環境が交わるべきではないが、浜松市民の多くは「分煙表示」を見て、「こりゃ何だあ???'と問いかけるだろう。

喫煙はあくまでも喫煙、分煙などの表示で誤魔化すべきではない。そんなことは、現代人ならば誰でも知っていることなのであるが、議員諸氏の認識・意識・矜持が低いのだ。

仮に営業再開した飲食店外壁に、**コロナ死亡リスク3倍、重症化リスク14倍**と表示すれば、よっぽど命知らずのお客しか来ない。そもそも、そのような店舗で働く従業員はいないだろう。

どの店舗も3密回避として、フィジカルディスタンスを実施しているが、完全禁煙はしていない。導入できない理由が喫煙客への配慮や売り上げへの影響ならば、お門違いも甚だしい。オリンピックを開催したブラジルや、バルセロナでは屋内完全禁煙を導入して久しいのだ。

店舗面積が完全禁煙化を阻むものならば、狭い店舗ほど受動喫煙被害は深刻であることを伝えるべきだろう。

■浜松市の鈴木市長を表敬訪問

8月3日、浜松市長室を表敬訪問した。7月に上梓した『日本高血圧学会雑誌』*に「浜松市における喫煙率低下のための健康アドボカシー」が掲載され、それを寄贈するためである。

20年間の受動喫煙防止策が浜松市民の喫煙率を10.2%まで低下するお手伝いになったことも伝えた。令和4年2月に静岡医師会館で「第31回日本禁煙推進医師歯科医師連盟の学術総会」が開催される。そのために県内22郡市医師会へのサポートの一環として、贈呈することも話した。

【加藤】「浜松市は“受動喫煙防止”には様々な先駆的な取り組みを行っていますが、浜松市による受動喫煙防止条例がなければ、飲食店従業員は安心して働きません。その辺りは如何でしょうか？」

【市長】「それは静岡県の担当ではないか？」

【加藤】「県条例は、完全に骨抜きされています。浜松市でも検討頂けないでしょうか？」

4期目の市長は困った表情をした。もっともこのころはコロナ感染のため、対策で大わらわだったもので、仕方がない部分もあった。

【加藤】「それでは、各々飲食店が受動喫煙防止宣言！をするのは如何でしょうか？浜松市は日常的に“受動喫煙防止”に取り組んでおり、大きめの啓発チラシも準備しているくらいですから。健康増進課の掲げる受動喫煙防止に宣言！と付け足せば良いのではないですか？恐らく市議会にも諮らなくて良いでしょうか…」

2【市長】「……………」

【加藤】「多くの30~50歳代は、35%程度の喫煙率です。すでに90%の浜松市民は喫煙行為の本質を理解しています。残るは夜間の飲食店喫煙対策をどうするかと思っています。これが何とかできれば、浜松市民健康寿命は更に延伸しますので、ご検討ください…」

■戦略と戦術

市長に『日本高血圧学会雑誌』を贈呈する際に「浜松市受動喫煙防止条例」の話題をした。恐らく民主党系の市長は、市議会自民党と不要（こちらはそう思っていないが）な議論をしたくなかったのだろう。

その代わりに、コロナ感染と喫煙についてお伝えした。浜松市内でも複数個所のクラスターが発生しており、市長の理解は深まった。

その後の中日新聞の健康増進課ニュース（重症化防げ 禁煙サポート コロナ対策 浜松市保健所など 相談・指導に力「すぐに始めて」）の記事が掲載されたが、8月3日の市長への表敬訪問とは無縁ではあるまい。

浜松市では、それ以外の分野（公共施設・空間・教育文化施設・浜松駅付近・JR・タクシー・ホテル・未成年・祭典）の情報提供をしており喫煙対策は済んでいる。地域住民はかなりの理解を示している。後は夜間の飲食店（バー・ラウンジ・クラブなど）や遊興施設であろう。

35%以上を占める30~50歳代喫煙者にキッカケを与え、理解してもらうのは環境を変えるのもひとつである。

これまでもそうであったが、戦略と戦術を駆使して、地域の喫煙対策を進めていきたい。

【かとう・かずはる=加藤医院院長】

* 『Hypertension research』

受動喫煙に関する意識調査

~東京都が速報値を公表~

東京都は9月14日「受動喫煙に関する都民の意識調査」の速報値を公表しました。

調査は7月上旬、都内在住の3000人を対象に、インターネットで行われました。

受動喫煙に関しては、1年間で61.5%が経験。受動喫煙を経験した場所については「路上」が51.2%で最も高い数字でした。

都受動喫煙防止条例と改正健康増進法については「内容までよく理解している」「だいたい理解している」「名前だけは知っている」を合わせた認知率は75.5%でした。この調査は、次号で詳しい内容を紹介させていただきます。（編集部）

教師のタバコ禁止令

—京都 洛星高校で新規則—

京都府の名門私立・洛星高校で「喫煙後45分以内に授業がある場合、教師の喫煙は禁止する」という規則が設けられた。

9月17日放送のTBSテレビ『グッとラック!』ではこの話題を取り上げて議論された。

同校の新規則の発端は、授業中に感じるタバコの臭いだったという。生徒から「授業に支障が出る」という意見が出る中、タバコの臭いが苦手だった生徒が“教師の喫煙規制”を公約に掲げ生徒会長に立候補。見事に当選して公約を果たした。

また、生徒が学校側と話し合うにあたり、タバコは臭いだけでなく「三次喫煙」の問題もあることが分かったという。三次喫煙とは、喫煙した人の髪や服についたタバコの有害物質を周囲の人が吸ってしまうこと。喫煙後45分は、口から有害物質が出るというデータもあり、特に気管支喘息の患者や化学物質過敏症の人は、呼吸困難や涙が止まらなくなるなどの症状が出るおそれがある。

スタジオの議論では、中島健太氏が「喫煙者が減ってほしい気持ちは分かる。でも今、先生はものすごいストレス下に置かれている中で、解消の機会がどんどん減っていくのはかわいそう。口から有害物質が出るって言うけど、実際のところどうなのかデータのすり合わせもしてほしい」と、喫煙者の教師に同情を寄せていた。

一方、立川志らくは医学的根拠があるならしかたないと納得。厚切りジェイソンは「最初は臭いで集中できないと言っていた。あとで三次喫煙の害を見つけて、それを理由に禁止したが、臭いだけなら、頭が臭い先生は45分前にシャンプーをしるか規制が拡大すれば、人の自由が心配になる。害があるならしょうがないが、最初の理由はそうじゃなかったでは…」とコメント。

山岸久朗弁護士は「喫煙する自由はあるが、どこでも吸っていい権利はない」と解説。こうしたケースは、何度も裁判で争われているという。

様々な職場で見直されている喫煙問題。教育現場も、例外ではなくなっていくのだろうか。

【yahooニュース(要旨)】

中日新聞東海本社
浜松市東区高町45番地
〒430-0555 電話 053(421)7711
しずおかA
2020年(令和2年)
8月30日(日)

重症化防ぎ 禁煙サポート

保健師が患者の状況を聞き取り、禁煙に
向けてサポートする。浜松市保健所

コロナ対策 浜松市保健所など

新型コロナウイルス感染症の重症化と喫煙の関係は、海外で研究されている。最初に感染者が報告された中国本土の患者千人の調査では、非喫煙者に比べ、喫煙者の重症化は一・七倍、死リスクは三倍だった。また武漢の病院に入院した症例を分析した論文では、喫煙者は十四倍重症化しやすいとの結果が出た。

こうした中、浜松市保健所(中区鶴橋)では、保健師ら七人体制で電話相談(平日午前八時半から午後四時半まで)を受け付け、

新型コロナウイルス感染症の重症化とされる喫煙歴。重症化させない一つの方法に早期の禁煙が挙げられる。冬場の感染拡大が懸念される中、浜松市保健所などは禁煙相談と指導に力を入れている。「肺機能の低下を招く疾患は、禁煙開始一年で改善が見られる場合もあり、すぐに禁煙を始めよう」と呼び掛けている。(久下勝美)

相談・指導に力「すぐに始めて」

相談業務に当たる保健師の山岡幸さんは「禁煙は始めた直後から健康改善効果が出る」とされる。二週間から三カ月で肺機能改善が見られるとのデータもある」と重要性を強調する。

市健康推進課グループ長で保健師の小笠原雅美さんは「日本のたばこ価格は海外に比べて安く、手に取りやすい社会的背景がある。喫煙で頻繁に口元付近に手を持っていく行為が感染リスクを高める可能性があるため、喫煙者の方は相談窓口や医療機関を利用して今から禁煙してほしい」と話している。相談は各区役所でも可能。市保健所 ☎053(455)6112

来所での指導を行っている。ニコチン依存度や禁煙タイプを調べるテストを行い、禁煙開始日を設定。指数が大きいほどがんの発病率が高いとされる「フィンクマン指数」が三倍以上などのヘビースモーカーには医療機関を紹介し、禁煙開始から半年間サポートをする。

新型コロナのはなし

日本禁煙学会理事 松崎 道幸

■症状の出ていない感染者からも

インフルエンザでは、くしゃみや咳で出されたウイルスが他の人に感染しますので、症状のある人に近づかなければあまりうつりません。

ところが、驚くことに、新型コロナは、発病する1～2日前がいちばん他人に感染しやすいことが分かりました。これは発病した患者さんと濃厚接触したのがいつかを発病の数日前までさかのぼって調べた結果わかったのです。

咳やくしゃみもない人から、なぜ感染するのか？実は、新型コロナに感染した人では、発病前のつばや吐く息のエアロゾルの中にウイルスがたくさん存在しているのです。

カラオケや合唱の練習で多くの人に感染が広がるのは、感染した人が発熱や咳、くしゃみを隠しているのではなく、つばや吐く息の水蒸気の中にウイルスがたくさん含まれており、飛沫感染と空気感染をするためなのです。

ですから、発病した人と接触した場合、さかのぼって接触者検診を行うことが必要です。

■診断のための検査はいろいろ

新型コロナに感染しているかどうかを決めるためには、ウイルスの遺伝子（RNA）があるかどうかを調べるPCR検査が必要です。綿棒のようなものを鼻から入れて喉の奥の粘液をとるスワブ（拭うという意味）検査が主なものですが、最近は唾液（1～2cc）もPCR検査に使われます。

発熱したばかりに人のPCR検査で新型コロナのRNAが見つければ、現在生きた新型コロナウイルスが感染中であることを示します。感染してから2週間ほどでPCR陰性になれば「治った」ということになります。しかし1か月経ってもPCRが陽性になることもたまにあります。その場合死んだウイルスの遺伝子（RNA）がまだ体に残っているだけと解釈されます。なおPCRは結果が出るまでに数時間かかります。

実は、PCR検査は陽性か陰性かというだけでなく、ウイルスの量も測っているのです。遺伝子の量はとても少ないため、特別な方法で遺伝子を倍々ゲームで増やして（遺伝子増幅検査）、30回～40回目までに基準の遺伝子量に達した場合、PCR陽性と判定しますが、わずか2、3回の増幅で基準値に到達した場合、その人のウイルス量が非常に多いということを示します。

ですからPCRが陰性の時は、①ウイルスがいない、②ウイルスがいるがとても少ない、のどちらかを意味します。したがって、昨日熱と咳で発病したのに「PCRが陰性」という場合は、新型コロナ

に感染しているが、まだウイルス量が少ない時期であるおそれが高いので用心のために隔離が必要だということになります。

ただしウイルス量が少なければ、他人への感染の危険もそれほど高くないと言えます。

最近、唾液やスワブを使ってウイルス表面のタンパク質の有無を1時間程度でチェックできる方法（抗原検査）も実用化されたので、発熱外来でまずこの検査を行い、それが陽性の人に改めてPCRを行うという流れになると思います。

■飛沫感染、空気感染

咳やくしゃみで放出される目に見えるしぶき飛沫がウイルス感染の原因となることはよく知られています。その飛沫の水分が蒸発してウイルスを含むエアロゾル（目に見えない微粒子）が空気中に漂い、気流に乗って、他人に吸い込まれて感染することを「空気感染」と言います。

新型コロナで空気感染がありうるという理由になったエピソードがあります。中国のあるレストランでクラスターが発生しました。感染発端者を含む数人のテーブルから数メートル離れたテーブルに着席していた9名の客に感染が起きたのです。発端者のテーブルはエアコンの吹き出し口にあり気流に乗った感染性エアロゾルが、直接接触のない他者に感染をもたらしたのです。

飛沫感染はサージカルマスクなどでブロックできますが、空気感染は室内の空気を頻繁に入れ替えなければブロックできません。空気清浄機やエアコンは、外気を取り入れないので、空気感染防止には役立ちません。外気を十分取り入れる換気を行うことが大事です。

■無症状感染リスク判定チャート

無症状感染者からの新型コロナ感染リスクチャートを示します。発声状態別、換気度別、密集度別です。マスクは一般市民用のもの。無症状感染者がアレルギー性の咳やくしゃみをする、感染リスクは高くなります。参考にしてください。

■コロナは汚れた空気が大好き

当初、武漢、北イタリア、ニューヨークなど大気汚染地域で新型コロナが大流行しました。その後PM2.5が高いと、感染率が高くなることが分かりました。

汚れた空気で気管支が傷むうえ微粒子がウイルスの運び屋となるためと考えられます。したがって、3密であるだけでなく、けた外れのPM2.5汚染のある喫煙室は新型コロナ感染の温床です。

コロナ後の世界は、喫煙室のない世界としなければなりません。

【まつざき・みちゆき】

議員会館事務所における 違法喫煙への申し入れ

参議院議長 山東 昭子様

国際基準のタバコ対策を推進する議員連盟
会長 尾辻 秀久
幹事長 松沢 成文

受動喫煙対策としての改正健康増進法が本年4月1日より全面施行され、議員会館を含む国会は第二種施設として喫煙専用室以外の屋内禁煙が義務付けられました。それにもかかわらず、議員会館の事務所で議員が喫煙する違法行為が横行していることが報じられています。

実際、立憲民主党の枝野幸男代表が、自らも違法に喫煙していたことを認め、他の議員も多くが自室内で喫煙していることを8月末の会見で明らかにしました。

国権の最高機関であり、唯一の立法機関である国会を構成する国会議員自らの違法行為を見逃すことは、法治主義を否定することにほかなりません。報道内容が事実だとすれば、違反者には指導や命令の後、30万円以下の過料が課されることとなります。そこで、国会自ら自浄作用を発揮すべく、早急に実態を調査し、厳正に対処されることを求めます。

また、本法は、国会を議決機関として喫煙専用室での喫煙が可能な第二種施設に位置づける一方で、省庁等の行政機関は第一種施設として敷地内禁煙とする厳しい規制を設けています。

こうした中、国会同様、第二種施設に位置づけられる全国の裁判所は、法の趣旨を踏まえ自主的に敷地内禁煙にしました。議員会館と同じ国会の一部である国会図書館も、同様に敷地内禁煙とし規制を強化しています。

三権に関わる機関のうち、司法機関と行政機関の施設が法の下に敷地内禁煙とする状況において立法機関だけを例外とすることは議員特権との批判を免れません。国会議事堂と議員会館も敷地内禁煙として運用すべきです。

つきましては、本件について下記の通り対応されるよう強く申し入れます。

記

- 1 議員会館内の事務所での違法喫煙の実態を把握するために調査・報告を行うこと
- 2 違反者に対し法に基づき厳正に対処すること
- 3 議員会館内の喫煙専用室以外の場所での喫煙が違法であることの周知徹底を図ること
- 4 国会議事堂及び議員会館を敷地内禁煙として運用すること

【資料提供＝松沢議員秘書・千葉修平氏】

*-4頁からの続き-

《感染リスク：「密集なし」と「密集あり」の比較リスト》

行動	密集なし			密集あり		
	屋外換気良好	屋内換気良好	屋内換気不良	屋外換気良好	屋内換気良好	屋内換気不良
マスクあり 接触時間 短						
会話なし						
会話あり						
叫ぶ・歌う						
マスクなし 接触時間 長						
会話なし						
会話あり						
叫ぶ・歌う						
マスクなし 接触時間 短						
会話なし						
会話あり						
叫ぶ・歌う						
マスクなし 接触時間 長						
会話なし						
会話あり						
叫ぶ・歌う						

低 中 高

タバコ規制法 制定の近道は？

～母の怒りから思いついたこと～

無煙社会をめざす会 幸田 和裕

■幼少時代のスモークハラスメント



私の父は病弱だったせいもあり、酒はビールコップ一杯程度、タバコは一切吸いませんでした。商家の二男だった父の青春時代は戦中の食糧難、「欲しがりません勝つまでは」の号令のもと、質素儉約が美德とされた時代です。

一人前の男はタバコを嗜むのが当たり前とされた当時の風潮の中で、入退院を繰り返していた父にとっては、まず栄養を付けて体力の回復を図ることが優先だったのかも知れません。

私が育ったところは酷寒の片田舎。子どもの楽しみの一つが冠婚葬祭等で開かれる大宴会のご馳走にありつくことで、近所や親類縁者、父の勤務していた会社等の集まりがあると、決まって親たちが連れて行ってくれたものです。

そんな中で酔った男たちは、ところ構わず紫煙を撒き散らし、子どもの顔に臭い息を吹きかけながら「これは美味しいぞ、食べ食べ」と大騒ぎの有様です。中には「お前も早くタバコを飲める（私の育った地方の方言では吸うことを飲むと言いました）ようになれよ」と、現在の常識では考えられないようなことを言う者もいました。

■思い出す母の怒り

今でも、記憶に残っているのは、深酔いした父の会社の同僚が、宴会の流れで家にやってきて、「お前の父さんは酒もタバコも飲まないし融通も利かない。お前は見習うなよ」とタバコの煙を私に吹きかけ、私に説教をし始めたことです。

怒った母は「何なのあんたは」と怒鳴ったかと思うと父の会社の同僚の襟首をつかんで有無を言わせず玄関先に突き出したのです。

恐怖に青ざめた父の同僚は「迷惑でしたの、悪してあったですの（迷惑かけて悪かったですね）」と言いながら、ほうほうの体で帰って行きました。怒りが収まらない母は「あんな人を連れてきて」と父と大喧嘩。私が、タバコ中毒者を嫌悪するきっかけとなった事件かも知れません。

その後も、タバコの煙を吹きかけながら小言を言う教師や、職場では煙害の受忍、会社の宴会では「男でタバコを吸わないのは天然記念物だね」とタバコの煙を吹きかけて絡むタバコグループの先輩&上司たちの存在etcとスモークハラスメン

■「無煙社会をめざす会」に参加して

ただ、当時の私には、受動喫煙被害を無くそうという人々の存在を全く知りませんでした。

特にポイ捨てには怒りを持っていましたが、他の無関心層と同じように「タバコを売って生活している善良な人々?!がいる以上、しょうがないのかな」、という低意識でした。

そんな私が、反タバコ!スモークハラスメント!を強く意識するようになったのは、散歩途中の道沿いにあるタバコ店の灰皿スタンドに群がる喫煙者の存在でした。タバコの煙が周辺に漂い、狭い歩道を通行する子どもや妊娠中の女性、通学の児童が迷惑そうに通っている状況、さらには、あちこちで歩きタバコや路上喫煙者の他人や子どもを無視する無法喫煙を見て、だんだん問題意識が高まっていったのです。

その後、いろいろと困って、相談できないかと参加するようになったのが渡辺文学さんたちの「無煙社会をめざす会」です。

当初は、政府がJTの株を3割以上も持っていること、たばこ事業法によってタバコ販売が守られていること等は全く知りませんでした。さらにタバコによる地球環境汚染等の事実も衝撃的な話でしたし、諸悪の根源がタバコ利権と絡み合っ

て起こることなどを理解しました。ですから、その後は新聞のニュースなども心して“深読み”をするようになりました。

■“反タバコ女性”勢力の拡大を!

喫煙で損なわれる尊い命や健康、毎年増大する喫煙関連医療費の問題、さらには健康増進法が改正されたとはいえ、家庭や飲食業界、職場等での受動喫煙は依然として深刻な問題と言えます。

スモークハラスメントに苦しめられ、今もトラウマに苦しめられている身として、この状況打破のためには「たばこ産業の発展」を目的に掲げる「たばこ事業法」を廃止し、新たに「無煙社会」を志向する「タバコ規制法」を絶対に制定しなければならぬと考えています。

菅内閣が発足しましたが、副総理兼財務大臣の麻生太郎氏はJT利権を死守、また、元財務官僚で今は官房長官の加藤勝信氏はタバコ業界から献金を受けてきた人物です。

タバコ規制法を早期に成立させるためには、タバコに寛容な男性閣僚9割以上の状況を転換し、私の母のような“反タバコ女性”の勢力をもっともっと増やしていくことが求められていると痛感しています。反タバコ女性活躍社会&反タバコジェンダー多様性社会への転換は喫緊の課題です。

そのための努力を、今後とも惜しまないで取り組んでいくつもりです。

【ゆきた・かずひろ＝世田谷区在住】

《メディア・ウォッチング》

■8/23『北海道新聞』「国会議員の違法喫煙NO」
「調査求める声/動かぬ与野党幹部」。国会・地方
議会は「議決機関」として特別扱いの喫煙専用室
が建物内に設けられているが、国会の議員会館自
室で喫煙する議員の存在が報じられたことからイ
ンターネットで批判が拡散している状況を取材。
ツイッターで発言していた橋下徹元大阪市長：「お
前らは特権階級か！役所が禁煙ならまず議員こそ
が禁煙だろ！」や、三原じゅん子自民党女性局長
「どうしてこういう事するかなー。国民の皆様
に信頼されるよう精いっぱい努力致します。喝！」
など7氏の発言内容を別枠で紹介し、末尾は松沢
成文参議院議員のコメント「例外をつくったこと
が最大の間違いだ」■8/25『朝日』（投書＝16歳
高校生）「たばこの臭い 勉強集中できない」。マ
ンションの廊下やベランダで吸う男性がいるので
①頭痛がして勉強に集中できない②家での食
事でも味が分からなくなる、として「怒りを覚
えます」と訴える■8/28『日刊ゲンダイ』「コ
ロナ禍で差別と誹謗中傷が広がる嫌な風潮」
「『喫煙者だから亡くなった』という事実無根
の悪質デマも」。コロナ禍で差別と誹謗中傷
が拡がっていく悪しき現象を奇貨として、喫煙
＝無関係を印象づけるいつもの（笑）喫煙擁護
記事■8/30『中日新聞』「重症化防ぎ 禁煙サ
ポート」「コロナ対策 浜松市保健所など」「相
談・指導に力『すぐに始めて』」。浜松市の禁
煙サポート体制を取材。浜松市健康推進課グル
ープ長・小笠原雅美保健師のコメント「日本の
たばこ価格は海外に比べて安く、手に取りや
すい社会的背景がある。喫煙で頻繁に口元付
近に手を持っていく行為が感染リスクを高
める可能性もあるので、喫煙者の方は相談窓
口や医療機関を利用して今から禁煙をしてほ
しい」■8/26『朝日』「公園も規制対象 受
動喫煙防止へ」。東京都三鷹市が改正健康増
進法と都受動喫煙防止条例の規制対象外の屋
外の公園や路上の一部を禁煙対象とする条例
案を、9月2日開催の市議会に提出するとい
う内容■8/28『産経』「非喫煙者、コ
ロナ対策と共存へ」「におい対策徹底、トレ
ーラー型...分煙環境模索」。千代田区と港区
にオープンした公衆喫煙所「THE TOBACCO
(ザ・タバコ)」の紹介記事。設置の背景や喫
煙所の“性能”も詳しく紹介している（笑）
だけでなく、後段ではJTの「全国15支社に
約400人の分煙コンサルタントを配置し」な
どと、JTの「分煙環境作り」についてもコメ
ントしているから、これはJTへのヨイショ記
事（笑）■8/29『東京』（投書＝大谷美津
子氏）「議員会館での違法喫煙ダメ」。「議
員が事務所でたばこを吸うことで、秘書やス
タッフは有害物質にさらされ」「...喫煙した
議員がいて、

退去したとする。次に入居する議員がたばこを
吸わなくても、化学物質アレルギーや体調不良
になることが考えられる」など、受動喫煙や「サ
ードハンド・スモーク」にまで言及した説得力
ある良い投書■9/1『東京』「昨年都内の出
火原因」「たばこ43年ぶり最多」「防犯カメ
ラ増え放火が減」「死亡35人半数寝たばこ」
「逃げ遅れ招く無炎燃焼 危険」。東京消防
庁管内で起きた火災の出火原因で昨年「たば
こ」が1976年（昭和51年）以来「放火」を
抜いて最多となったその背景や「寝たばこ」
の危険性について取材■9/1『読売』『毎日』
『北海道新聞』。議員会館事務所で議員が喫
煙していた問題が報じられる中、枝野幸男立
憲民主党代表が「制度を厳格に運用するとい
う認識が甘かったと反省している（読売/ほか
2社もほぼ同じ記述）」などと陳謝したとい
う内容。記事を読んだ渡辺編集長のコメント：
「“反省”だけでなく、この機会にぜひ『卒煙
』して、政府の甘いタバコ対策を迫りて欲
しいと思います」■9/3『読売』（都内版）
「喫煙所にトリックアート」「大崎駅新西口
距離保ち密回避」。「利用者が心理的に絵を
避けるようにすることで、自然と距離を保ち、
密集を避ける」というのがウリだが、末尾は
やはり「...たばこメーカーと連携し、新西
口に加熱式たばこ専用の喫煙所を開設。トリ
ックアートを描いた」となっていた（笑）■
9/3『東京』「吸わない人の命が大事だ」
「禁煙タクシー第1号安井さん『余生1年』の
訴え」「喉頭がん再発『空車』時も規制を」
声振り絞る。「8月に喉頭がんの治療医から
余生1年との宣告を受けた」との手紙が元運
転手安井幸一氏（87）から寄せられたこと
から青木孝行記者が取材。安井氏が禁煙タク
シーの認可を勝ち取るまでの経緯や現在の心
境を紹介。末尾は「生きているうちに、道
路運送法の一部に『タクシー車内は禁煙』と
の文言を加えるよう行動していく」「（国交
省）自動車局旅客課の担当者は本紙の取材に
、空車時も車内は禁煙となるように『運輸
規則の一部削除を検討している』としている」
だった。なお、この記事では安井氏が何度
も裁判闘争をしてきたことには触れていない。
ささやかな「お手伝い」をさせていただいた
筆者としても、氏の功績をたたえ、勇気と行
動力に最大の敬意を表したい■9/10『北海
道新聞』「議員の喫煙調査 議連が申し入れ」
。超党派の「国際基準のタバコ対策を推進
する議員連盟」（尾辻秀久会長）は9日、喫
煙議員の実態調査と違反者への対処を衆参
議長に申し入れたという内容。①松沢成文
議連幹事長：「自分たちでつくったルールを
守らないのは特権意識の弊害だ」／②山東
昭子参院議長：「（指摘は）その通り。議
院運営委員長と相談し、対応したい」と前
向き回答だった。

【氷飽健一郎】

漫筆

渡辺文学さんの趣味(?)は路上のタバコの吸いガラ拾いだそうです。「禁煙ジャーナル」読者の方が見れば「さすが」と思う立派な行為でしょうが普通の人が見れば違うでしょう。「自分が吸うために」と見る人が多いと思う。特にぼくのような老人が見たら絶対です◆上京した18歳のころ、ずいぶんそういう光景を目にしたものです。ようするに日本人の「モッタイナイ精神」のひとつだった。自分が吸うだけでなく人に吸わせるための人もいました。拾い集めたタバコの吸いガラをほぐし、それをまた一本のタバコにして売るので。少し前、ナントカという俳優が大麻で逮捕されましたが彼の家からはタバコ用の巻紙が発見されました。ちょっと懐かしかったですね。こんなもの日本では売っていません。しかしアメリカ、特にハワイではコンビニでも売っているくらいおなじみのものだ。といっても長い間行っていませんので今はどうなのかは知りませんが、多分変わっていないと思う。というのはハワイでは野生の大麻が雑草としてやたら生えているのです。そんなもの買う人はいないのでしかたなくそれを巻く紙だけ売っている(笑)◆しかしハワイの人は買わなくても日本からやって来た観光客は買います。突然、国際電話がハワイからかかってきたことがある。電話の主は立川談志師匠でした。それがもう何をいつているのかさっぱり分からないペロペロ状態だった。こちらから電話を切るわけにはいかないのでテキストに話を合わせていたのですが話の長いものなんのって、あれ電話代が相当なものになったことと思う。まあそれもお金持ちの談志師匠のことですから心配はしませんが◆後にこの謎は解けました。この時、談志師

匠のそばにいた弟子の話です。原因は師匠が生まれて初めて吸った大麻だった(大笑)。弟子が止めるのもきかず、スパスパとタバコと同じペースで吸いまくってペロペロというかロレロレというかの状態になってしまったのだと。そして「コーシンに電話しろ。あいつには死ぬ前にいっておきたいことがある」といってきかなかつた、と。しかしこの弟子もバカですね。電話をしたフリをして「ルスのようにす」といえばそれですんだ話ですよ。このバカな弟子が今どうなっているかは皆様が考えてみてください。けっこう有名な人になっていますよ。こういうところがさすが天下の立川談志師匠と思ってしまうですね◆というところで話は戻ります。日本人の「モッタイナイ精神」のタバコだ。拾い集めた吸いガラをほぐしそれをまた1本のタバコにするのですが、その巻紙は辞書の紙でした。特に英語の辞書が多かった。若いころあれだけ口にした英語がなぜものにならなかったのか不思議ですが(大笑)。

【高 信太郎】



【雑記帳】北海道庁の新庁舎内がタバコ臭いという告発をうけ、北海道新聞が9月19日の1面トップ記事で「道議、新庁舎で喫煙」と厳しく追求しました。「吸えないはずなのに臭いがする」。新庁舎の利用が始まった5月からこうした指摘が相次いでいたとのこと。日本禁煙学会の松崎道幸道支部長は「脱法行為をする議員に喫煙ルールのあり方を語る資格はなく、全面禁煙しかない」とコメント。これは本当に「道議的」問題ですね◆吸い殻拾い、ついに3万本を超えました。昨年1月20日から先月8月31日まで、29,271本でしたが、9月1日から25日までの本数が1,247本となり、ついに30,518本となりました。今年は特に「コロナ問題」で郷里の南会津に行けず、自宅暮らしが多かったせいで、記録が伸びました。しかしこの「記録」が伸びてもあまり嬉しくありません◆各地でやはりゴミを熱心に拾っている方がおられて、ツイッターでその写真を送って頂いていますが、なんとかこれを減らしたいものです◆「マイルス・デイヴィス クールの誕生」という映画を観てきました。史上もっとも有名なジャズ・トランペッターとして知られるマイルス。しかし「タバコ」のシーンが多かったのは残念でした。彼の「声」は酷い声でした。彼もヘビースモーカーであり、かつまた一時期、

無煙賛歌

国会の議員事務所でも吸う議員
特権意識ただちに棄てよ
枝野さん陳謝だけではまだ不足
禁煙をしてタバコ規制を
浜松市ががんばる健康推進課
喫煙する人いつでも歓迎
都内での火事の原因入れ替わり
放火が減ってタバコ不始末
空車時もタクシー車内は禁煙を
声振り絞る嗚呼安井さん
勉強の集中はばむタバコ煙
高校生の訴え哀れ
富美郷(ふみさと)

コカインの常習者でもありました。学生時代「ジャズ喫茶」に度々通っていた私ですが、当時は店内全体に紫煙が漂い、自身もタバコをくゆらしながら「ジャズ」を楽しんでいた時代でした。今思えば「能動喫煙」と「受動喫煙」で肺をたっぷり痛め付けていたわけですね。60年ぶりに「ジャズ」の楽しさを味わってきました。(文)